

- 1 主題 仲間を信じて 内容項目B－(11) 相互理解、寛容 教材「まかせてみようよ」
 2 指導の構想

【何ができるようになるか】(単元の目標)

「自分を高める」

- ・様々な活動に取り組む中で、状況から自分にできることを考え、積極的に行動することができる。(自分を発揮する力)
- ・宿泊訓練の目標達成に向けて、友だちと励まし合いながら最後までくじけずにやり遂げることができる。(自分を発揮する力)

「人とよりよく関わる」

- ・学年全体で活動することを通して、互いの考えを尊重しながら活動することが、よりよい集団生活へとつながることを実感できる。(他者意識)

【何を学ぶか】(主題の価値)

本主題は、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる考えや立場を認め、尊重していこうとする心情を育てることをねらいとしている。学級や学年には、自分と異なる考えをもつ友だちもおり、意見が対立することもある。自分とは異なる考えであっても、謙虚な心を持ち、相手の話に耳を傾けることによって、納得できる部分が見つかるものである。相手への理解を深めることが、ともに支え合う仲間に向けて大きく前進することにつながる。

宿泊訓練と関連付けながら、相手の考えや立場を尊重し、互いに支え合い、高め合うことの素晴らしさを感じさせたい。

【本教材を通して】

本教材は、謙虚に相手の話に耳を傾け、尊重していく過程が理解できるとともに、実践への意欲を高める契機とすることができる。

【総合的な学習の時間との関連】

「宿泊訓練を成功させよう」

【どのようにして学ぶか】

総合の単元の流れ [単元計画 (14時間)]

(1) 目標をもつ (2時間) 【本時含む】

まず、宿泊訓練の目的や大まかな活動計画を知り、学習後のゴールイメージをもったり、宿泊訓練のテーマを設定したりする。そして、テーマやゴール像に向けて自分にとっての探究課題をもつ。

(2) 実践する (10時間)

次に、課題に応じて自分の役割を選択し、役割ごとに施設や体験活動についての調査や、しおり作成など宿泊訓練に向けた準備を行う。そして、集団での宿泊活動を通して、自分にできる役割を積極的に果たしたり、仲間と折り合いをつけながら協働したりする。

(3) 振り返る (2時間)

最後に、テーマやゴール像からこれまでの学習を振り返り、学んだことや自分の成長を書きまとめる。また、それらをもとに、宿泊訓練の意義や価値などについてポスターに書きまとめて、来年宿泊訓練に行く4年生に発信する。

【児童の実態】

本学級の児童は、総合的な学習の時間「米米大作戦」の学習を通して、同じ目標に向かって自分と異なった考えをもつ仲間と互いにそれぞれの役割を果たす経験をしている。しかし、自分と異なる意見や立場を受け入れようとする考えまでには至っていない。これは、誰も自己本位に陥りやすいという弱さをもっており、自分自身が成長の途上にあるが故に至らなさもあることを自覚していないからである。そこで自分と異なる考えをもつ仲間と共に高め合う関係を求めるようになるこの時期に、相手の考えや立場を尊重し、互いに支え合い、高め合うことの素晴らしさに気づかせたい。

3 本時

(1) 目標

- 自分と異なる考えをよく聞き仲間の関係を深めることがよりよい集団づくりには大切であることに気づき、広い心で自分と異なる考えや立場を認め、尊重していこうとする態度を育てる。

(2) 準備

- ①教材の流れ図 ②学習プリント

(3) 展開

過程	学習活動・児童の反応	指導の手立て(○)と評価(◇)
導入 10分	<p>1 仲間と協働することについて話し合い、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班遊びをする時に途中で遊びに飽きたという友だちと言い合いになったな。 ・話し合いをして意見がまとまらずに困ったことがあったな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Googleform による事前アンケートと、結果をテキストマイニングで提示することで、仲間と協働した経験を想起できるようにする。 ○ 宿泊訓練を想起させることで、本時学習の意義や価値をつかませる。
	(めあて) 互いの考えが異なる時に、大切な心について考えよう。	
展開 25分	<p>2 教材「まかせてみようよ」をもとに、「ぼく」の行為について話し合う。</p> <p>(1) 「ぼく」の行為の素晴らしいところについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石井さんにまかせようとしたところ ・石井さんのこれまでの努力を知っていたところ ・石井さんに意見を求めたところ <p>(2) 「ぼく」の行為の原因について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分や周りの友だちの考えを絶対に正しいとは思わないようにしていたから ・色々な人の意見を聞いてみんなが納得できるようにしたいという思いがあったから <p>(3) 「ぼく」の行為から取り入れていきたいことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの頑張りに気づくようにしたり、友だちの意見を大事にしたりすると、グループ活動が楽しくなると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的価値が発見されるように、事前に教材を読ませておく。また、資料の流れ図を掲示しておく。 ○ それぞれの行為の特長毎に分類・整理して板書するようにする。 ○ 「このような行為ができたのは、ぼくにどんな思いがあったからですか」と問い、自分の経験と重ねて考えさせることで、ぼくの行為の裏にある心情について迫ることができるようにする。 ○ 「そのようなことをするとグループ活動はどうなりますか。」と問うことで、相手を尊重することがよりよい集団づくりのために大切だと気づくことができるようにする。
終末 10分	<p>3 本時学習を振り返り、学習プリントに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊訓練でも、みんなの意見をよく聞いて話し合って解決したい。 ・相手のことを決めつけずに、しっかり話を聞いて話し合っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的実践意欲を向上させるために、昨年の宿泊訓練の様子を紹介する。 ◇ 宿泊訓練などの学習や生活場面とつなげて、自分のこれまでの行動やこれからの行動について振り返っているか。(学習プリント分析)